

年年歲歲花相似 歲歲年年人不同

教務部長 近藤保子

最近になり、23年前に入学をしてきた1回生のことを、ふと思い出すことがあります。当時はルーズソックスが流行っていて、ズルズルと引きずるようにソックスを履いていたり、教室の椅子にダボダボしたそれが掛けてあったりしました。教育力も乏しかったためか、やんちゃな学生に正に私たちが育てられている状態でした。

・その1回生も今はもう40歳を過ぎています。若さを武器に、自由奔放だった彼女らの今を想像すると、自然と笑みがこぼれてしまいます。「時」は待ってはくれません。40にして惑わない人生を送っていることだと思います。

『年年(ねんねん)歳歳(さいさい)花(はな)相似(あいに)たり、歳歳(さいさい)年年(ねんねん)人同じからず』これは古詩の一節ですが、開校当時に校長補佐をされていた今は亡き原田英夫先生から、学生教育に例えて教えられました。

「毎年4月になれば同じように桜の花が咲くけれども、そこにいる学生は誰一人として同じではない。ひとり一人をしっかり見て教育に当たりなさい。」と。

三河歯科衛生専門学校を卒業した学生は800人以上になりました。国家試験・卒業式シーズンを迎えるたびに、古詩の一節を思い出し、ひとり一人のための歯科衛生士教育をしてきたかを振り返る機会となっています。

臨床実習指導者の皆さん、そして地域の歯科医師会の講師の皆さんのご指導のお陰を持ちまして、今春には30名の卒業生が地域の歯科医療現場へ巣立つ予定です。

また、在校生においては今後も大変お世話になりますが、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



1 第1期臨床実習から

第1期臨床実習のまとめを12月20日に行いました。内容は臨床実習帳の充実を図るために学生の模範的な実習帳書き方の紹介と、自己の反省点・課題を把握し、今後の学習に生かす目的で自己評価を行いました。結果は以下の通りです。

1) 自己評価

「基本的事項に関する評価」

- ①「社会人としての基本姿勢」(返事や時間厳守・言葉遣いなど)は、「よくできた」59.9%、「できた」32.1%、「あと少し」6.3%、「できなかつた」1.7%であり、努力次第で行える基本的事項ができていない学生がいることは不甲斐ない結果です。

②「患者理解」(相手の立場に立ち配慮するなど)は「よくできた」56.1%、「できた」32.9%、「あと少し」11.0%、「できなかつた」0%でした。

③「学習姿勢」(疑問に感じた事柄を調べる、積極的に取り組むなど)で「よくできた」36.6%、「できた」48.8%、「あと少し」11.4%、「できなかつた」3.3%でした。

「実習帳に関する評価」(実習内容に沿つて要点をまとめて書くなど)は「よくできた」38.0%、「できた」43.4%、「あと少し」18.5%、「できなかった」0%であり、8割以上ができたと評価しましたが、指導者からの評価との差がありました。自己評価が甘いことは問題です。

「歯科診療補助に関する評価」(確実な診療補助・一連の流れを理解し器材を準備など)では「よくできた」20.2%、「でき

た」42.0%、「あと少し」27.4%、「できなかつた」3.8%、「実習していない」6.6%でした。

2) 反省点

一番多かった反省は『知識不足のため不安や緊張が大きく、積極的に実習に取り組めなかつた』でした。中には『わからないことに直面した時、頭が真っ白になつて動けなくなり治療を妨げてしまつた』と自身の実力不足で他に迷惑をかけたことを反省している学生もいました。

3) 今後の目標

『基礎知識を確実に身につけ積極的に取り組む』など、反省を踏まえ目標を定める学生が多くいました。また『患者さんの気持ちを第一に配慮して行動する』など、患者理解が次に多い目標でした。

2 第1期臨床実習報告会

臨床実習1期のまとめの一環として、学生が実習先で学んだことの報告会をクラス内で毎年行っております。日々の臨床実習帳記録をより深めること、興味を持った内容を研究しプレゼンテーション能力を養うこと、学んだことをクラスで共有するという目的があります。

個人情報の漏洩には十分注意をしておりますが、今後、写真などを使用する場合には、事前に学校側から依頼させていただきます。指導者の皆様には今年度もご協力を賜り感謝いたします。

3 主な行事予定

- ・第2期臨床実習 1/15(火)～3/20(水)
 - ・国家試験 3/ 3(日)
 - ・卒業式 3/ 7(木)